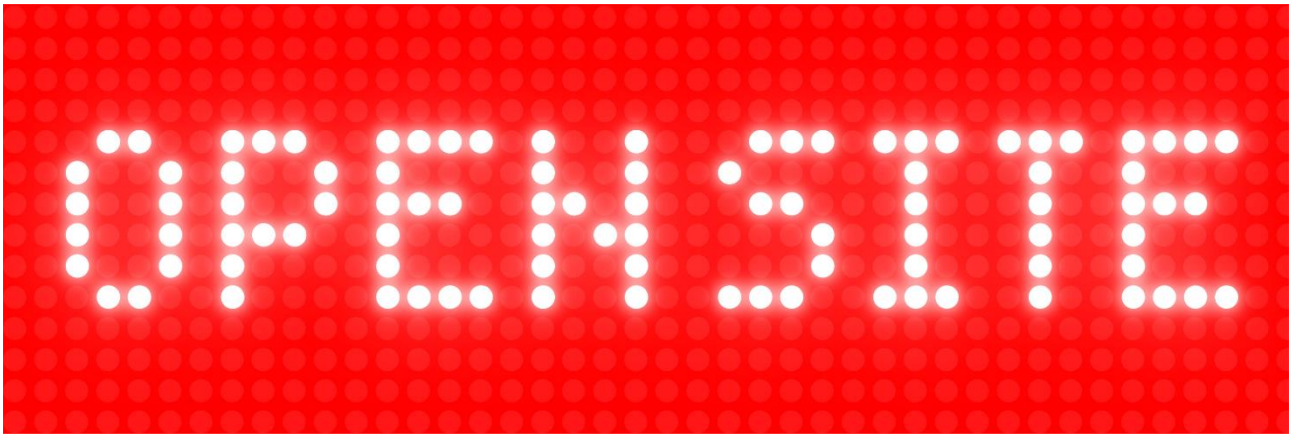
OPEN SITE 5

2020 年 11 月 21 日(土)～2021 年 2 月 7 日(日)
トーキョーアーツアンドスペース本郷



すべてのジャンルに創造の場を開いた、アート・プラットフォーム

「OPEN SITE 5」は、オリンピック・パラリンピックの開催都市東京が展開する文化の祭典「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の 1 つとして実施するものです。

OPEN SITE は、あらゆる表現活動が集まるプラットフォームの構築を目指し、2016 年より始まったトーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）の企画公募プログラムです。5 回目となる 2020 年度は国内外から 161 企画の応募があり、厳正なる審査を経て、展示部門 4 企画、パフォーマンス部門 3 企画、dot 部門 2 企画を選出しました。さらに TOKAS 推奨プログラムを加えた合計 10 企画を実施します。自由かつ強い意志を持ち、社会へと開いていく意欲に満ちた企画に、ぜひご期待ください。

開催概要

実施期間：　Part 1　2020 年 11 月 21 日（土）– 12 月 20 日（日）
■オープニング・トーク
日　時｜11 月 21 日（土）16:00 – 17:30
ゲスト｜畠中 実（NTT インターコミュニケーション・センター[ICC] 主任学芸員）
Part 2　2021 年 1 月 9 日（土）– 2 月 7 日（日）
■オープニング・トーク
日　時｜1 月 9 日（土）16:00 – 17:30
ゲスト｜小林晴夫（blanClass ディレクター）
※新型コロナウイルスの感染状況によっては、実施内容が変更となる場合がございます。
会　　場：　トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京都文京区本郷 2-4-16）
休 館 日：　月曜日（ただし 11 月 23 日、1 月 11 日は開館）、11 月 24 日（火）、1 月 12 日（火）、年末年始および展示替え期間
主　　催：　公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース
ｳｪﾌﾞｻｲﾄ：　www.tokyoartsandspace.jp/

＜ お問い合わせ ＞
〒135-0022 東京都江東区三好 4-1-1 東京都現代美術館内
トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館） 広報担当：市川、武智
TEL: 03-5245-1142　FAX: 03-5245-1154　E-mail: press@tokyoartsandspace.jp

実施企画／広報用画像 ※この他にも広報用画像をご用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

【Part 1】2020 年 11 月 21 日（土）– 12 月 20 日（日）11:00 – 19: 00／無料

展 示

大岩雄典
「バカンス」

1. 《別れ話》 2020
物語、インスタレーション
写真：屋上

コント漫才のインスタレーションを展示する。舞台は海上の船の一室、壁の向こうに、盗聴器ならぬ「盗言器」が潜んでいると言い出して、捜索を始める二人。わたしたちの暮らしや世界には、いつもどこからか（えてして強迫的な…）声が聞こえている。本展は、ステートメント（宣言）とインスタレーション（空間）との蜜月関係が、どのようにフィクションを形づくるのかを実験する。

関連イベント
12/13（日）17:00 – 19:00「トークイベント」ゲスト：後日発表　企画トゥルク：きりとりめでる
プロフィール　1993 年生まれ。2019 年東京藝術大学大学院美術研究科修了。同大学院映像研究科映像メディア学博士後期課程在籍。フィクションと修辞学を主題に制作。近作《別れ話》（2020）では、複数の「語り手」による多元的な物語のインスタレーションを発表した。『美術手帖』、『ユリイカ』、『早稲田文学』などに批評を執筆。

//////////////////////////

展 示

権瓶千尋と森岡美樹
「声になるまえ」

2. 《ことば以前のかたちについてのドローイング》
2020

ことばは何かを明らかにする一方で、何かを隠してしまうという問題を共有する二人のアーティストによる展示。ことばによって定められる前の感情や現象にフォーカスしながら、現代社会における「ことば以前」を模索し、協働して制作されるインスタレーションを発表する。

関連イベント
12/12（土）16:00 – 17:00「アーティスト・トーク」
プロフィール　権瓶千尋：1985 年生まれ。2016 年ロイヤルカレッジ・オブ・アート、ミクストメディア・テキスタイルズ修了。森岡美樹：1989 年生まれ。2018 年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。グローバル社会における所属・帰属の感覚を模索する権瓶と、コミュニケーションが生じる空間、人、モノの関係性について制作する森岡による協働ユニット。

dot

パレイドリアン
「聴衆のいない演奏会—転倒する〈作曲・演奏・聴取〉」

3.

11 月 27 日（金）19:00 –
11 月 28 日（土）14:00 – / 17:00 –
11 月 29 日（日）14:00 –
無料／要予約

耳馴染みのない、新奇な音楽との出会いから生まれる驚きや戸惑いに身を投じることによって、音楽との向き合い方を探るワークショップ。誰も聞いたことのない「新しい」音楽を目指して創作される不可解な作品に潜む愉楽に分け入るために、作曲家・山本和智の「新作」を体感し、その音楽の魅力や違和感について、〈作曲・演奏・聴取〉の三者の立場から交わされる対話を通じて探求する。

プロフィール　2020 年結成。鐘ケ江織代（コーディネーター）、眞崎光司（学習環境デザイン研究者）、山本和智（作曲家）による音楽実験ユニット。ワークショップを「当たり前に潜む異次元への旅」と定め、〈体験と省察〉を軸とした新たな視点を参加者とともに探索する作品（ワーク）を追求している。

//////////////////////////

TOKAS 推奨プログラム

クロエ・デランヘ Chloë DELANGHE
「ミネブリーヴェン（ラブレターズ）」

4. 《ミネブリーヴェン（ラブレターズ）》 2019
フィルム・スチル

12 月 3 日（木）– 12 月 12 日（土）
11:00 – 19:00

動物との関係や出会いに焦点を当てたマルチスクリーン・ビデオインスタレーション作品の展示。フィルムの視点はジョン・バージャーのエッセイ『なぜ動物を観るのか？』を参考にし、フレームとして用いている。鳩やワタリガラス、鹿との意識的な出会いをとおして、媒体としてのカメラがテーマとする孤独、感情転移、愛を探究する。

トークイベント
12/5（土）16:00 – 17:00 アーティスト・トーク　※日英逐次通訳あり
プロフィール　1991 年生まれ。2014 年ゲント王立美術アカデミー修了。記憶や日常をテーマにさまざまな手法で物語を紡ぐ。アーカイブ資料や、しつらえられたオブジェ、ポートレートやテキストなどで、繋ぎ合わさったナラティブが表現され、愛や形を想起させる。2019 年 TOKAS 芸術文化・国際機関推薦プログラム参加。
協力　Commission of the Flemish Community

brussel

dot

Back and Forth Collective
「Feminists in Collective Practice —実践を共にする—」

5. 「Quiet Dialogue: インビジブルな存在と私たち」展
2018　上映会風景

12 月 19 日（土）17:00 – 19:00
「コレクティブ・フィルムメイキング
Speculative Fiction: Practicing Collectively」

12 月 20 日（日）14:00 – 15:00
「WOMEN'S BODIES / RIGHTS」
※性自認が女性のみのイベント

12 月 20 日（日）17:00 – 19:00
「視点の交差・女性の移住」

各回無料／要予約

※12 月 17 日（木）– 20 日（日）
スクリーニングあり。詳細スケジュールは後日発表します。

複数の地域でメンバーが活動するコレクティブ性を活かし、各々の視点から得たジェンダー／フェミニズムに関するアーティストの多様なアプローチを紹介する。日本のフェミニズム運動や移住者とジェンダー、リプロダクティブヘルス／ライツなどに関する映像上映や、意見交換によって個人や社会の複雑性と多様性を表す手法を探り、複数のアーティストが映像共同制作を行うコレクティブ・フィルムメイキングをとおして、さまざまな連携の形を考える。

プロフィール　2017 年より活動開始。メンバーの坂本夏海、滝朝子、本間メイはそれぞれスコットランド、日本、インドネシアを主な拠点とし、近年はジェンダーやフェミニズムに関わる展覧会やイベント、リサーチなどゲストとともに行っている。

【Part 2】2021 年 1 月 9 日（土）～2 月 7 日（日）11:00 – 19:00／無料

展 示

上村洋一＋黒沢聖覇
「冷たき熱帯、熱き流氷」

北海道オホーツク海における流氷の調査および作品制作を行ってきたアーティストの上村洋一と、ブラジルのアマゾン地域を調査したキュレーターの黒沢聖覇による新しい環境観を志向する共同制作プロジェクト。流氷の「冷たさ」と熱帯雨林の「熱さ」という両者の体験を衝突させることで、惑星規模で変化する環境やエコロジーに対する新しい感性と問いを提示する芸術的方法論を模索する。共同キュレーターに高木遊。

6. 《Thermo-cruising》 2020
©Yoichi Kamimura + Seiha Kurosawa

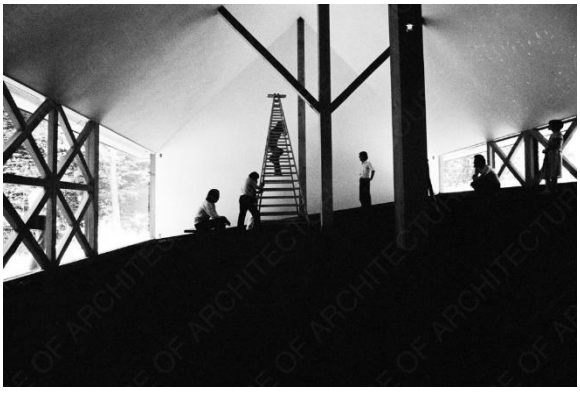
関連イベント
1/24（日）14:00 – 16:00 アーティスト・トーク
プロフィール　上村洋一：1982 年生まれ。視覚や聴覚から風景を知覚する方法を探り、人間と自然との曖昧な関係性を考察している。主にフィールド・レコーディングを素材にインスタレーションやサウンド・パフォーマンス、音楽作品などを制作し国内外で発表している。黒沢聖覇：1991 年生まれ。2019 年東京藝術大学大学院国際芸術創造科研究科修了。同研究科博士後期課程在籍。キュラトリアル実践をとおして、自然環境・社会・精神の領域を横断する近年の新しいエコロジー観と現代美術の関係性を研究。展覧会制作に留まらず、他のアーティストと協働して作品制作も行う。
助成：東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2020

//////////////////////////

展 示

飯沼珠実
「建築のことばを探す　多木浩二の建築写真」

アーティスト・飯沼珠実が 2020 年 7 月に刊行した同タイトル写真集の制作過程におけるリサーチプロジェクトの発表展。調査対象は批評家・故多木浩二が撮影した建築写真で、被写体となった住宅の建築家、篠原一男、坂本一成、伊東豊雄、白澤宏規が、生前の多木から預かったという写真資料は 12,000 カットにおよぶ。会期中には写真集への寄稿者をはじめ、本プロジェクトにまつわるゲストらと写真集を囲み、世代をまたいだ対話の創出をめざす。



7. 《谷川さんの住宅》
写真：多木浩二、設計：篠原一男

トークイベント
1/23（土）、1/30（土）、2/6（土）に実施予定。詳細はウェブサイトにて発表します。
プロフィール　1983 年生まれ。東京都とパリを拠点に活動。カメラをとおして建築を見つめながら掬いだす歴史（History）から物語（His-story）を、写真プリントやアーティストブックの形式で発表する。2020 年には版元・建築の建築を設立、写真集『建築のことば　多木浩二の建築写真』を刊行した。
協力：TN プローブ （大林組）

パフォーマンス

どうぶつえん
「どうぶつえん in TOKAS 2021」

1 月 15 日（金）12:00 – 21:00
1 月 16 日（土）12:00 – 21:00
1 月 17 日（日）12:00 – 19:00

¥3,000／要予約
各日程の詳細スケジュールは後日発表します。

8. 「どうぶつえん」Vol. 10 より Aokid の発表
Photo:三木仙太郎

野外イベントとして東京中心部にある代々木公園を主な舞台に実施してきた「どうぶつえん」。2016 年の初回より、さまざなジャンルからの発表者は 70 人以上を数える。今回、これまでの参加者たちによるパフォーマンスやトーク、レクチャー、ワークショップなどで構成されたプログラムをとおして、東京やそれ以外も含めた街における小さなアクションが起こす未来への展望について作戦会議の場をひらく。

出演　Aokid、濵田明李、米澤一平、たくみちゃん、武田 龍、朴 建雄　ほか
プロフィール　ダンサー／振付家／アーティストの Aokid が中心となり 2016 年より活動開始。さまざまなジャンルのアーティストと公園などを移動しながら行う野外即時的パフォーマンスイベント。

//////////////////////////

パフォーマンス

ブルーエゴナク
「Coincide 同時に起こること」

1 月 29 日（金）★19:00 –
1 月 30 日（土）14:00 – / ★19:00 –
1 月 31 日（日）12:00 – / 15:30 –
¥3,000／要予約
★アフタートーク

9.『ROMEO AND JULIET』 2019
作・演出：穴迫信一

韻を踏むという行為に、コインサイド―意味と音を同時に起こそうとする行為―が根源にあると考え、韻文の構造によって言語が作為／無作為の間を往来し、新たな意味を規定し始めることを「言語によるドラマの誘引性」とし、その可能性を検証する。意味と音の無責任な移り変わりによって、多面体が反射するような風景の変化をもたらす上演を目指すとともに、テキストとパフォーマンスの関係を捉え直す。

出演：木之瀬雅貴、田中美希恵ほか
アフタートーク　1/29（金） ゲスト：細馬宏通（人間行動学者、早稲田大学文学学術院教授） 1/30（土） ゲスト：後日発表
プロフィール　2012 年結成。代表穴迫信一。新たな演劇の創造と上演を主旨として活動する。リリックを組み込んだ戯曲と、発語や構成にわたり音楽的要素を用いた手法をもとに「個人のささやかさ」に焦点を当てながら、作品の在り方を見出そうとする作風が特徴。

パフォーマンス

y/n
「セックス／ワーク／アート」

10.『カミングアウトレッスン』 2020

2 月 5 日（金）19:00 –
2 月 6 日（土）14:00 – / 19:00 –
2 月 7 日（日）14:00 –
すべての回にアフタートークあり。

A 券¥3,000｜B 券¥2,000 ／要予約
※値段以外に違いはありません

自らの身体を媒介とした客とのコミュニケーションを仕事とする俳優とセックスワーカー。両者の仕事にはもうひとつの媒介として金銭が存在しているが、ふたつの職業の「労働」としての側面は見過ごされがちだ。支払われる対価は何に対するものなのか。歴史的には重なり合ってきた部分もあるふたつの職業の共通点と差異をとおし「私たち」の「適正な」関係を問い直すレクチャー・パフォーマンス。

出演　y/n（橋本 清、山﨑健太）ほか
プロフィール　2019 年結成。演出家・俳優の橋本清と、批評家・ドラマトゥルクの山﨑健太によるユニット。リサーチやドキュメンテーションに基づき、パフォーマンスを中心としたプロジェクトを展開する。

//////////////////////////

■パフォーマンス/dot 企画チケット予約方法■

※2020 年 11 月 1 日（日）より受付を開始（予定）

チケットの予約お申込みは TOKAS ウェブサイトの専用フォームまたは E-mail での受付となります。詳細は後日チラシおよび TOKAS ウェブサイトで発表します。

※チケット代金は当日会場にてお支払いいただきます（現金のみ）。
※各公演とも定員になり次第、または公演の 2 時間前をもって予約受付を終了します。

■新型コロナウイルス感染症拡大防止における取組について■

TOKAS では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じたうえで、本事業を開催いたします。
チケットご予約の際は、必ず TOKAS ウェブサイトの「【お知らせ】TOKAS 本郷の新型コロナウイルス感染防止への取組について」をご確認ください。また、37.5℃以上の発熱がある方、体調不良の方等は、当日ご入場をお断りする場合がございます。予めご了承ください。
URL：https://www.tokyoartsandspace.jp/archive/news/2020/data-20200622-1080.html